

目 次

第一章 調査の概要

第1節 調査の目的・内容・方法等	1
1 調査の目的	1
2 調査の内容	1
3 調査の方法	1
4 調査結果の集計分析	1
第2節 調査の実施過程	2
1 調査対象の設定・標本（サンプル）の抽出	2
2 調査票の配布・回収・有効調査票の選定	3
第3節 回答者の属性	4
1 性別	4
2 年代別	4
3 職業別	5
4 子どもの有無	5
第4節 報告書の見方	6
1 集計結果の見方について	6
2 標本誤差について	6
3 クロス集計について	7

第二章 調査結果の概要～単純集計結果を中心に～

第1節 人権・同和問題に関する学習経験	9
1 同和問題の学習経験（問15）（問20）	9
2 同和問題の学習内容（問21）	15
3 同和問題の学習に対する評価（問22）	17
4 社会教育における人権問題の学習経験（問10）	19
5 社会教育における人権問題の学習情報（問11）	23
6 社会教育における人権問題の学習契機（問12）	25
第2節 人権・同和問題に関する学習成果	29
1 人権に関する宣言や法令の認識状況（問5）	29
2 水平社宣言について	31
3 日本国憲法について	33
4 世界人権宣言について	35
5 同和对策審議会答申について	37
6 大分市あらゆる差別の撤廃及び人権の擁護に関する条例について	39
7 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律について	41

8	大分市人権教育・啓発基本計画について	43
9	人権週間（12月4日～10日）について	45
10	差別をなくす運動月間（8月）について	47
11	「本人通知制度」について（問29）	49
12	「人権啓発センター（ヒューレおおいた）」について（問30）	51
第3節	因習などに関する受け止め方（問6）	53
1	結婚式を行う時の「大安」「仏滅」などについて	53
2	葬儀を行う時の「清め塩」について	55
3	血液型による性格・相性・運勢の判断について	57
4	鬼門などの方角について	59
5	姓名判断（占い）について	61
第4節	日常生活における人権意識	63
1	今日の日本の人権意識に対する受け止め方（問1）（問2）	63
2	人権意識の現状認知について	65
3	居住地域の隣人に対する人権意識一般（問14）	65
4	同和地区に対して	67
5	近隣の同和地区に対して	69
6	低所得者などに対して	71
7	外国人に対して	73
8	精神科の病院や障がい者施設に対して	75
9	高齢者施設に対して	77
10	保育所や幼稚園に対して	79
11	職場の隣人に対する人権意識一般（問7）	81
12	高齢者に対して	83
13	女性の上司に対して	84
14	障がい者に対して	85
15	同和地区出身者に対して	86
16	外国人に対して	87
17	ハンセン病回復者に対して	88
18	HIV感染者に対して	89
19	刑を終えて出所した人に対して	90
20	自分の子どもの結婚相手を考える際の人権意識（問9）	91
21	日常生活の場面における人権意識（問8）	94
22	「差別」に関する受け止め方（問13）	103
23	「弱い者いじめ」をどう感じているか（問3）	105
24	悩みや不安の相談相手（問4）	107
25	身元調査について（問28）	109
第5節	同和問題に関する認識	111
1	同和地区出身者に関する認識（問16）	111
2	同和地区に対するイメージ（問17）	114

3	同和地区出身者に対するイメージ（問18）	115
4	同和問題への関心度（問19）	121
5	同和地区に対する差別的発言を聞いた時とる態度（問23）	123
6	交流していた人が同和地区出身者であった場合にとる態度（問24）	125
7	子どもが同和地区出身者との結婚を希望した時とる態度（問25）	127
8	同和地区に対する差別的態度や行動を解決できるかと問われたら（問27）	131
第6節	同和問題を解決する方法に関する認識	133
1	同和地区出身者に対する差別について（問26）	133
2	同和問題を解決する方法に関する認識（問32）	135
3	解決に役立つ方法について（問31）	137

第三章 調査結果の分析～クロス集計結果を中心に～

第1節	人権・同和問題に関する学習経験と問題の受け止め方	139
1	世界人権宣言の学習成果と人権意識	139
2	日本国憲法の学習成果と人権意識	142
第2節	学習の評価（受け止め方）と人権意識	143
1	同和問題の学習に対する評価と人権意識	143
2	学習評価と人権意識に関する近時の動向	145
第3節	因習などの受け止め方と人権意識	147
1	「大安・仏滅」意識と職場に高齢者がいることへの不安感	147
2	「清め塩」習慣に対する意識と差別問題の受け止め方	148
3	「清め塩」習慣に対する意識と差別の解決に関する受け止め方	149
第4節	日常生活における人権意識と問題の受け止め方	150
1	女性の上司と同じ職場で働く場合と夫婦間性別役割分担意識	150
2	子どもとふれあう頻度と子どもに体罰を加えることに対する意識	151
3	高齢者とふれあう頻度と高齢者に対する固定観念	152
4	障がい者とふれあう頻度と障がい者の求人が少ないことに対する意識	153
5	外国人とふれあう頻度と外国人に対する意識	154
6	同和地区出身者とふれあう頻度と子どもの結婚時にとる態度	155
第5節	同和問題の認識と問題の受け止め方	156
1	同和地区への居留意識と差別意識	156
2	差別的発言に対する態度と子どもの結婚時にとる態度	158
3	子どもの結婚時にとる態度と人権意識	159
第6節	同和問題の解決方法に関する認識	164
1	子どもの結婚時にとる態度との相関から検討した場合	164
2	同和地区に住宅を購入することに対する意識から検討した場合	165
3	自然と差別はなくなるという意見への反応から検討した場合	167

第四章 人権意識の課題と展望

第1節 人権・同和問題に関する学習経験の課題と展望	169
1 学校における人権・同和問題の学習	169
2 社会教育における人権・同和問題の学習	170
3 学習経験の課題と展望	170
第2節 人権・同和問題に関する学習成果の課題と展望	172
1 学習内容の認知を高める条件	172
2 学習成果を上げる方法の検討	172
3 学習成果の課題と展望	173
第3節 因習などに関する受け止め方の課題と展望	174
1 因習などに関する市民の受け止め方	174
2 因習などを改善する方法の検討	174
3 因習などの受け止め方に関する課題と展望	174
第4節 日常生活における人権意識の課題と展望	176
1 日常生活における人権意識の実態	176
2 人権意識を改善する方法の検討	176
3 日常生活における人権意識の課題と展望	177
第5節 同和問題に関する認識の課題と展望	178
1 同和問題の認識	178
2 同和問題の認識に関する課題と展望	178
第6節 同和問題の解決方法に関する市民意識の課題と展望	180
1 同和地区に対する市民意識	180
2 同和問題を解決する方法に関する市民意識	180
3 同和問題の解決をめざす市民意識の課題と展望	180
第7節 「自由記述」に見る人権意識の課題と展望	182

巻末付録

「人権に関する市民意識調査」調査票	185
-------------------------	-----